取付作業者用

ドライブレコーダー　取付説明書

共通編

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
本書はドライブレコーダーの取付方法「共通編」について記載しています。
取り付け前に、本書と別冊の「車種別編」を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取り付けられたものについては、取付作業者の責任となります。取り付け後は本書および「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。
なお、取り付けミスを避けるため、取り付けはスズキ代理店、またはスズキ代理店が指定した販売店で行ってください。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

⚠警告、⚠注意、注記、アドバイスのところは、とくにしっかりお読みください。

⚠警告	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
⚠注意	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適用車種および適用年式

品　番	適用車種		適用年式
9909B-53U84-K02（DRVM524S） 9909B-53UA4-K01（DRV524S） ※ 99199-55ZL0-K01 （KNACBLM524S）	スペーシア スペーシア ベース イグニス エスクード スイフトスポーツ ランディ	MK54S、MK94S MK33V FF21S YEH1S ZC33S MZRA90C、MZRA95C、 ZWR90C、ZWR95C	2023 年 11 月～
	スイフト	ZCDDS、ZCEDS、 ZDDDS、ZDEDS	2023 年 12 月～
	フロンクス	WDB3S、WEB3S	2024 年 10 月～
	ワゴン R スマイル	MX81S、MX91S	2024 年 12 月～
	ソリオ	MAD7S	2025 年 1 月～
	アルト	HA37S、HA97S	2025 年 7 月～
	ラパン	HE93S	2025 年 8 月～
	クロスビー ジムニー / ジムニーシエラ	MND1S JB64W / JB74W	2025 年 10 月～
	ワゴン R	MH85S、MH95S	2025 年 12 月～
	e ビターラ	PA2AS、PB3AS	2026 年 1 月～
	エブリイ ハスラー	DA18V、DA18W MR52S、MR92S	2026 年 5 月～
	ジムニーノマド	JC74W	2026 年 7 月～
	e SKY	KBAAS	2026 年 11 月～
9909B-53UA4-K01（DRV524S） ※ 99000-79CG9（GSKDRV20S）	キャリイ / スーパーキャリイ	DA16T	2026 年 1 月～
9909B-53U84-K02（DRVM524S）	e エブリイ	S781Z	2026 年 3 月～

※9909B-53U84-K02 は、リヤワイパー非装着車は取付対象外です。
※キャリイ/スーパーキャリイには、別売品のコードレールセット（99000-79CG9）が必要です。
※ランディには、別売品のドライブレコーダー用カメラ延長ケーブル（99199-55ZL0-K01）および、電源ハーネス（99199-55Z00）が必要です。

CAA-KAW23031-20
発売元：スズキ株式会社
321122K

アドバイス

・動作確認は、microSD カード (32GB) を使用してください。
・同梱の microSD カードを使用して動作確認をしないでください。同梱の microSD カードを使用すると、車両引き渡し前に撮影された映像が microSD 内に保存されてお客様の元へ渡ります。

本書の見方

・ドライブレコーダー（フロント・リヤセット：9909B-53U84-K02）と、ドライブレコーダー（フロントのみ：9909B-53UA4-K01）は、後方を録画するリヤカメラおよび関連部品を除いては共通です。
・ドライブレコーダー（フロントのみ：9909B-53UA4-K01）の場合は、リヤカメラおよび関連する項目は対象外です。

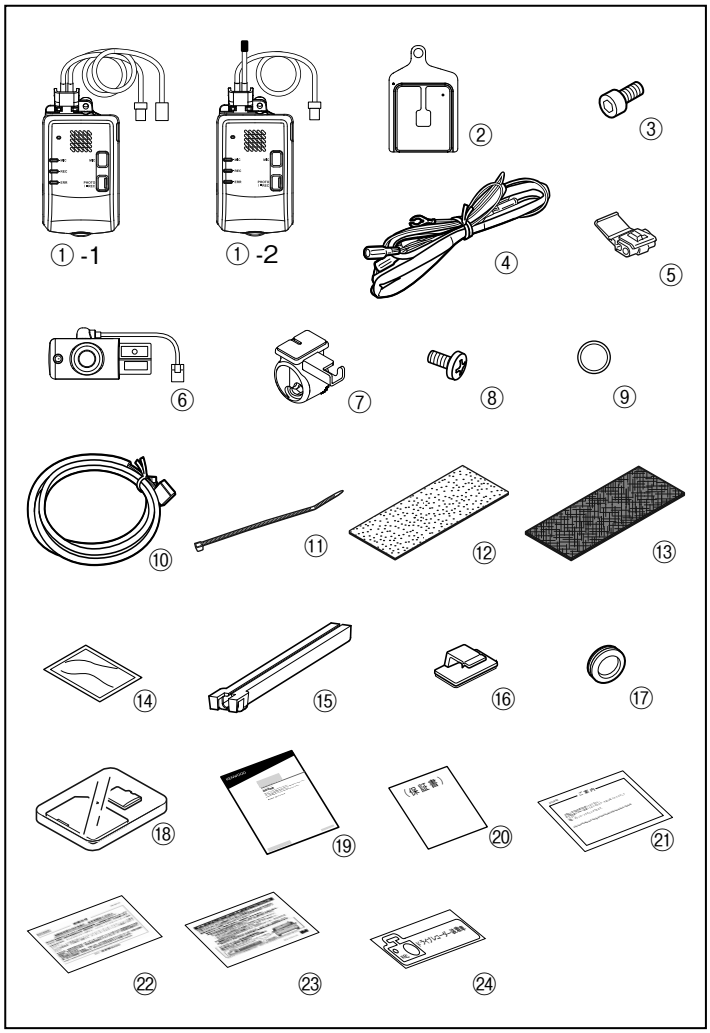
加工について

●車両により加工内容は異なります。車種別編を参照し、実施してください。

		バックドア部への加工 バックドアインナーパネル（鉄板）への穴開け （必要：○、不要：×）
アルト	ルーフエンドスポイラー付き車	×
	ルーフエンドスポイラーなし車	○
エブリイ		○
ジムニー / ジムニーシエラ		○
スペーシア		○
スペーシアベース		×
ハスラー		○
ラパン		○
ワゴン R		×
ワゴン R スマイル		○
イグニス		×
エスクード		○
クロスビー		×
スイフト		×
スイフトスポーツ		×
ソリオ		×
ランディ		×
フロンクス		×
ジムニーノマド		○
e ビターラ		×
e エブリイ		×
e SKY		×

構成部品

■ ドライブレコーダー（9909B-53U84-K02, 9909B-53UA4-K01）



図中番号	品名	数量	
		9909B-53U84-K02	9909B-53UA4-K01
① -1	ドライブレコーダー本体（フロント・リヤセット用）	1	-
① -2	ドライブレコーダー本体（フロントのみ用）	-	1
②	ブラケット（フロント）	1	1
③	ネジ（M3 × 5.5mm）	1	1
④	電源ケーブル	1	1
⑤	中継コネクター	3	3
⑥	リヤカメラ	1	-
⑦	ブラケット（リヤ）	1	-
⑧	ネジ（M3 × 8mm）	1	-
⑨	カバー	1	-
⑩	リヤカメラケーブル	1	-
⑪	束線バンド（200mm）	45	15
⑫	クッションテープ（200mm × 100mm）	4	2
⑬	保護シート（200mm × 100mm）	3	2
⑭	クリーナー	2	1
⑮	ケーブルガイド	1	1
⑯	ケーブルクランパー	2	-
⑰	グロメット	1	-
⑱	microSD カード（32GB）、アダプター	1	1
⑲	取扱説明書	1	1
⑳	保証書	1	1
㉑	補助説明書（ご案内）	1	1
㉒	補助説明書（お知らせ）	1	1
㉓	補助説明書（ドライブレコーダーステッカーについて）	1	1
㉔	ステッカー	1	1

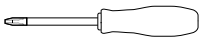
■ ドライブレコーダー用カメラ延長ケーブル（別売品）

● 99199-55ZL0-K01（別売品）

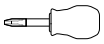
図中番号	品名	数量
㉛	リヤカメラケーブル（ランディ用）	1

使用工具

プラスドライバー（長）

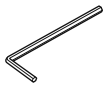


プラスドライバー（短）

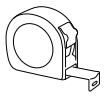


ショートスタッピ

六角レンチ（2.5mm）

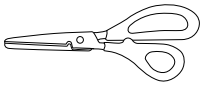


メジャー

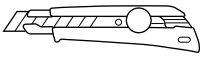


リムーバー

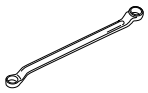
ハサミ



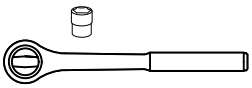
カッターナイフ



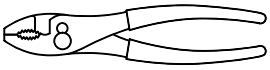
めがねレンチ（10mm）



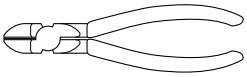
トルクレンチ



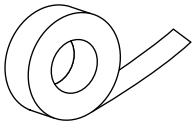
プライヤー



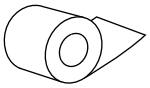
ニッパー



布テープ



養生テープ



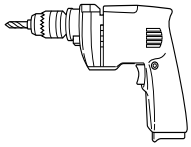
絶縁テープ

ビニールテープ

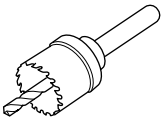
丸ヤスリ、平ヤスリ

ケガキ針

電動ドリル（φ 3mm、φ 5mm）

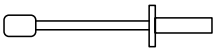


ホールソー（φ 16mm）

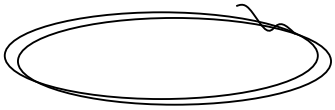


タッチアップペイント

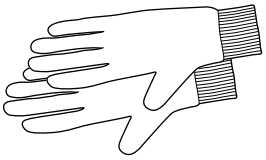
マグネットハンド



針金



ケブラー手袋



取付上の注意事項

安全上のご注意

お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

注意（しなければならない）の内容です。	禁止（してはいけない）の内容です。	実行（必ず行っていただく）の内容です。

⚠警告

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。

エアバック用ワイヤーハーネスに損傷を与えない
エアバックの動作不良の原因となります。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

車両部品の脱着時や配線作業時には、ケブラー手袋を装着して作業をする
シャープエッジ部などでケガをするおそれがあります。

SRSエアバッグ装着車に取り付ける際に注意する
車両復元後、SRSエアバック警告灯に異常がないか確認してください。

⚠注意

コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注 記

- 車両部品の取り外しおよび取り付けは、サービスマニュアルを参照して行ってください。

アドバイス

- 車両より取り外したネジ類は、部品別に整理して、なくさないように十分注意してください。

取付準備作業

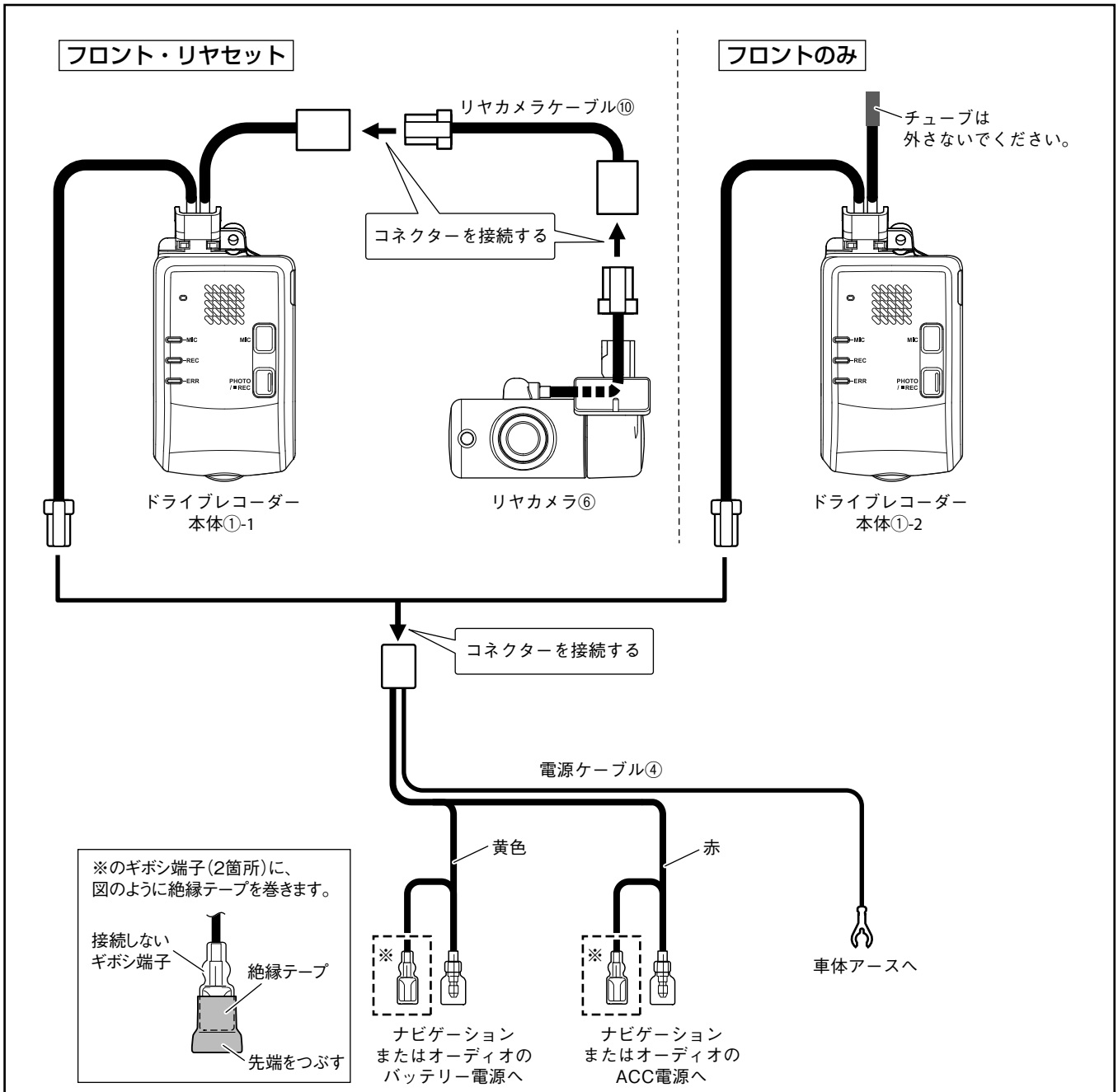
1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車させパーキングブレーキを確実に操作してください。
2. 取付作業中の車は、エンジンを停止しエンジンキーを取り外してください。

※キーレススタートシステム付車およびプッシュスタートシステム付車についてはリモコンを車外で保管してください。

3. 構成部品および部品点数が取付説明書どおりになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認してください。

結線図

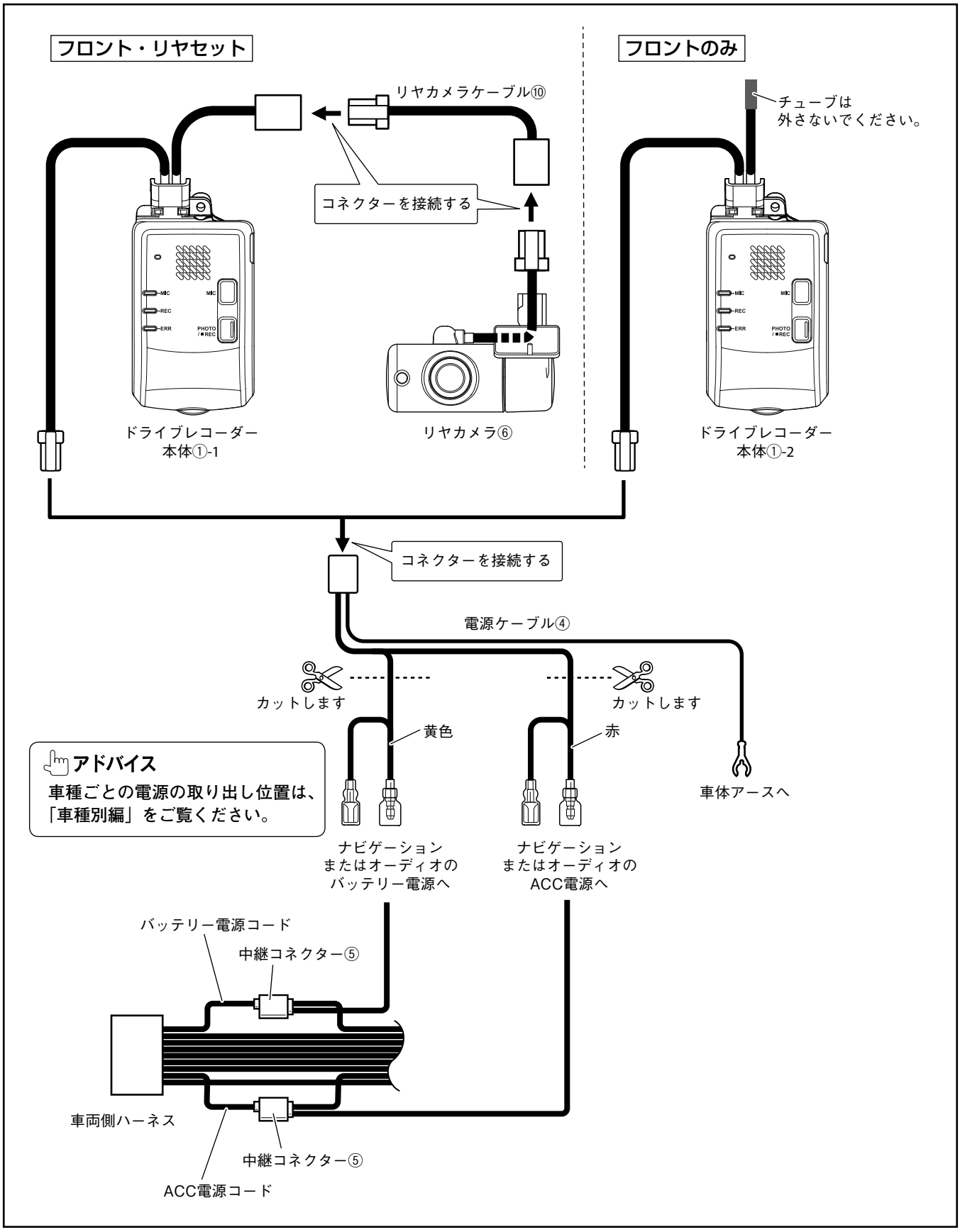
■用品ナビ・オーディオと共着し、電源ハーネスに ACC / バッテリー電源のギボシ端子がある場合



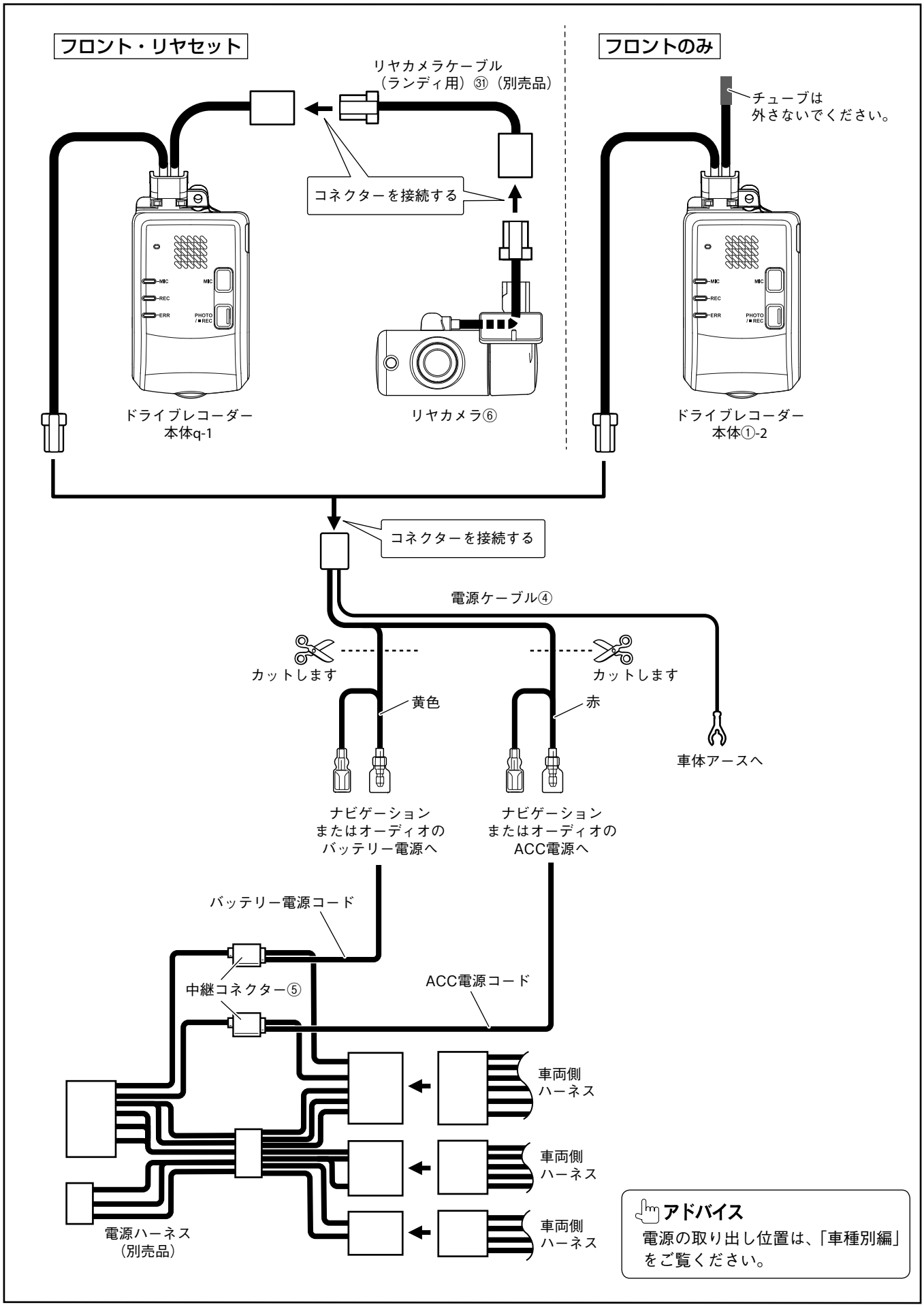
⚠警告

- 接続しないギボシ端子は、必ず絶縁テープを巻き付けてください。端子が車体などの金属部に接触すると、ショートによる火災や故障の原因になります。
- 必ず、1本ずつ巻き付けてください。

■ ACC / バッテリー電源のギボシ端子がない場合

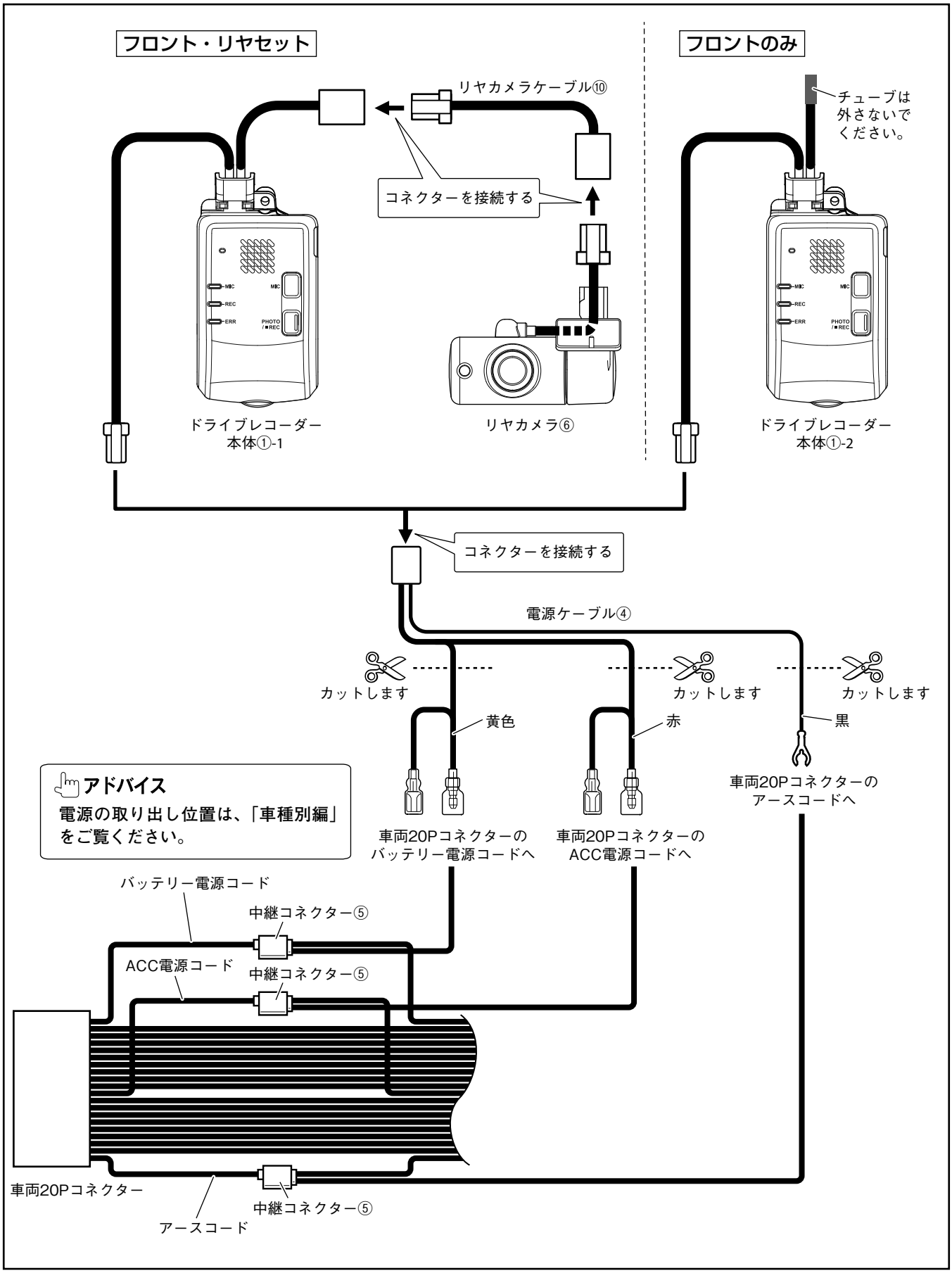


■ランディに取り付ける場合



アドバイス
電源の取り出し位置は、「車種別編」をご覧ください。

■ e ビターラに取り付ける場合



取付要領

■ ドライブレコーダー取り付け上の注意

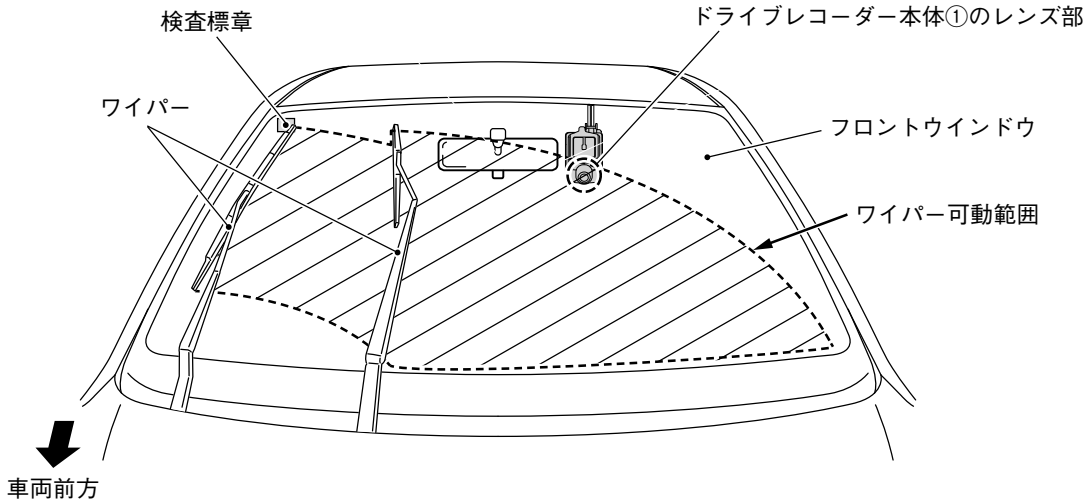
⚠注意

● ETC アンテナなど他用品と取付位置が重なる場合は、ドライブレコーダーの取付位置を優先してください。

・湿気が多い時は、室外での取り付けは行わないでください。
粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。
・貼り付け面の汚れ（油分、水滴）をきれいに拭き取ってください。特に水滴は両面テープの性能を劣化させますので注意してください。
粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。
・気温が低い（15℃以下）と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、フロントウインドウ / バックドアウインドウ面とブラケットの両面テープ部を温めてから貼り付けてください。
ドライブレコーダー本体①、リヤカメラ⑥、またレンズ部には、ドライヤー等を使用しないでください。
・バックドアウインドウの熱線にブラケット（リヤ）⑦の両面テープを貼り付けないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
・取り付け後、引っ張る等、無理な力を加えないで自然放置してください。
・確実に装着させるためクリーナー⑭でフロントウインドウ / バックドアウインドウをきれいに拭いてください。
・取り付け後フロントウインドウ / バックドアウインドウを拭く場合は、両面テープに水分やガラスクリーナー等のスプレーがかからないようにしてください。粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。

■ ドライブレコーダー本体 取り付け位置について　フロント・リヤセット　フロントのみ

外側からフロントウインドウを見た図

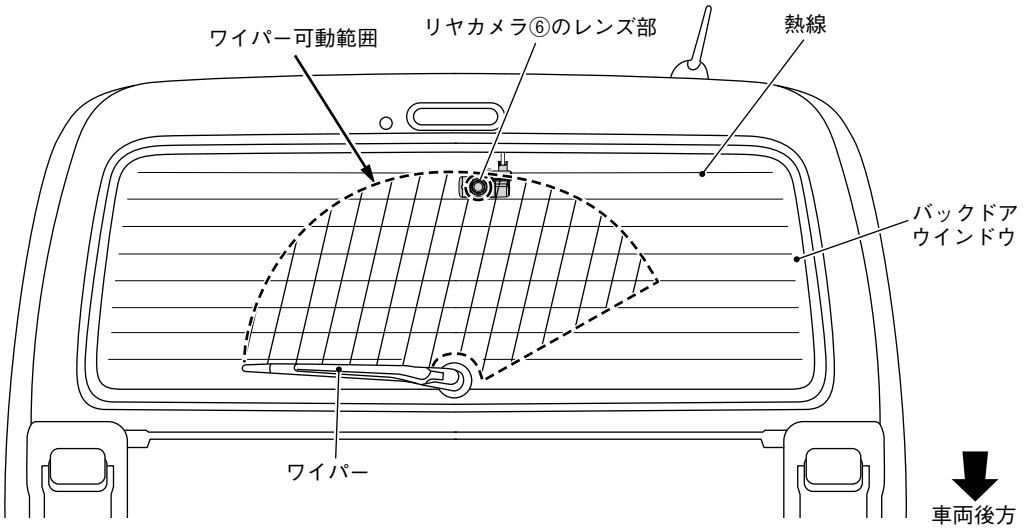


⚠注意

・フロントウインドウへの取り付けに関し、道路運送車両の保安基準第 29 条 4 項を満足することを確認しています。
ただし、誤った位置にドライブレコーダー本体①を貼り付けると保安基準に抵触するおそれがありますので、車種別編で示すドライブレコーダー本体①の貼り付け寸法を遵守してください。
（詳細は、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第 195 条第 5 項第三号または独立行政法人 自動車技術総合機構 審査事務規程 第 8 章 8-55 による、道路及び交通状況に係る情報の入手のためのカメラに指定されている要件を参照してください。）
・ドライブレコーダー本体①のレンズ部がワイパーの可動範囲内に貼り付けられていることを確認してください。ワイパーの可動範囲外にドライブレコーダー本体①を貼り付けると、雨天の際に鮮明な映像を撮影できない可能性があります。
その他の場所への取り付けは、行わないでください。

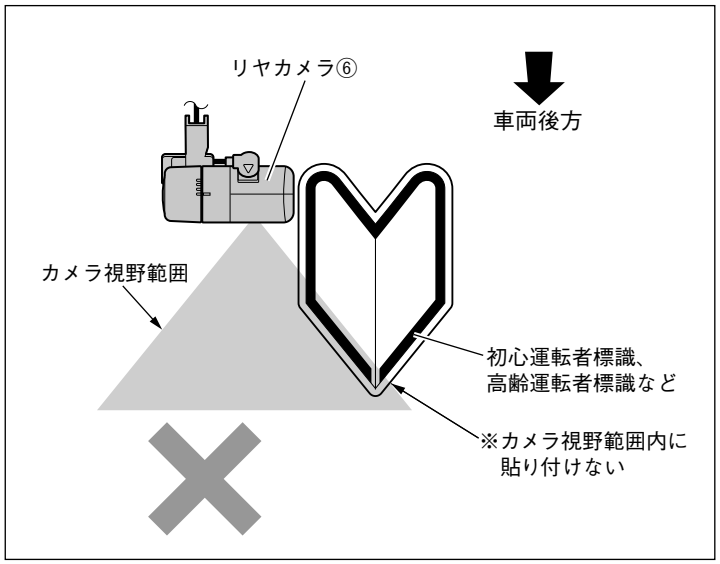
■ リヤカメラ 取り付け位置について　フロント・リヤセット

外側からバックドアウインドウを見た図



⚠注意

リヤカメラ⑥のレンズ部がワイパーの可動範囲内に貼り付けられていることを確認してください。
ワイパーの可動範囲外にリヤカメラ⑥を貼り付けると、雨天の際に鮮明な映像を撮影できない可能性があります。
その他の場所への取り付けは行わないでください。



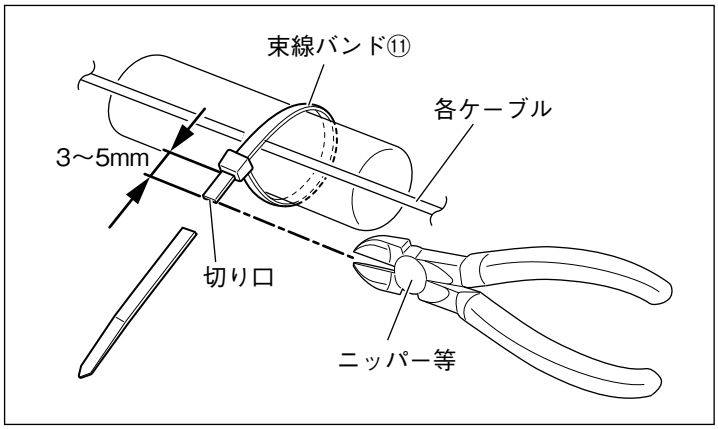
注 記

初心運転者標識、高齢運転者標識などを貼り付ける際は、カメラ視野範囲外に貼り付けてください。カメラ視野範囲内に初心運転者標識、高齢運転者標識などを貼り付けると、記録される映像に初心運転者標識、高齢運転者標識などが映り込みます。

アドバイス

リヤカメラ⑥の取付位置により、画像にガラス面の電熱線が現れる場合があります。画像不良ではありません。

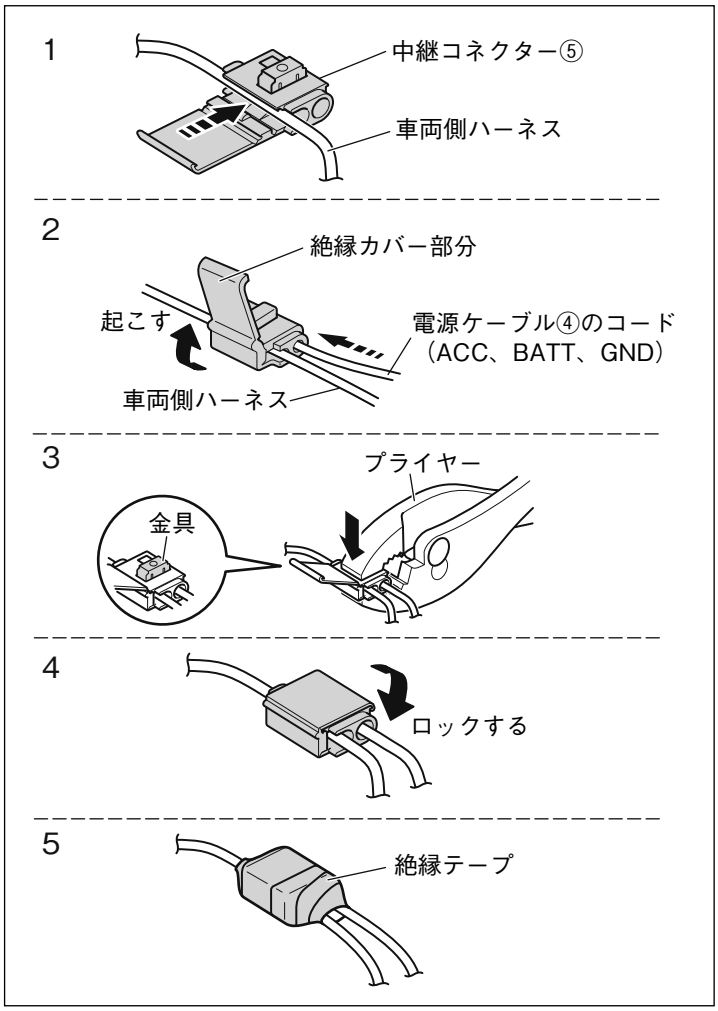
■ 束線バンドのカットについて　フロント・リヤセット　フロントのみ



注 記

束線バンド⑪は３～５mm の切代を残し、切り口が鋭利な形状とならないようニッパー等でカットしてください。
切代が短すぎるとバンドが外れるおそれがあります。

■ 中継コネクターの使用方法　フロント・リヤセット　フロントのみ



1. 車両側ハーネスの指定のコードを中継コネクター⑤に通します。

2. 絶縁カバーを起こします。
   電源ケーブル④の指定のコードを中継コネクター⑤に突き当たるまで差し込みます。

3. プライヤーで金具を押し込みます。

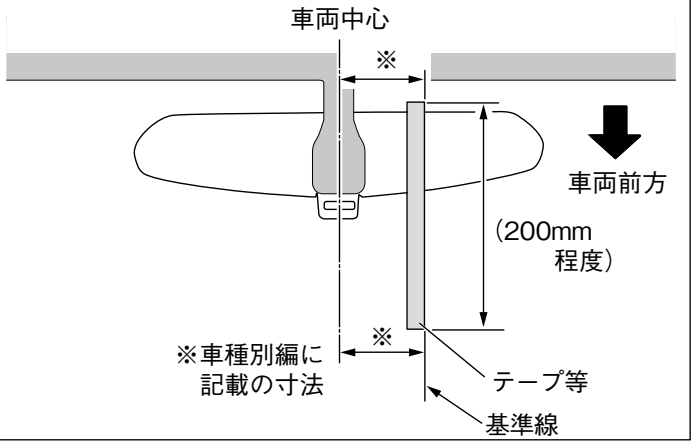
4. 絶縁カバーを閉じてロックします。

5. 中継コネクター⑤を絶縁テープなどで巻きます。

■ ドライブレコーダーの取り付け

＜ドライブレコーダー本体 取付位置のマーキング＞ フロント・リヤセット フロントのみ

車室外側からフロントウインドウを見た図

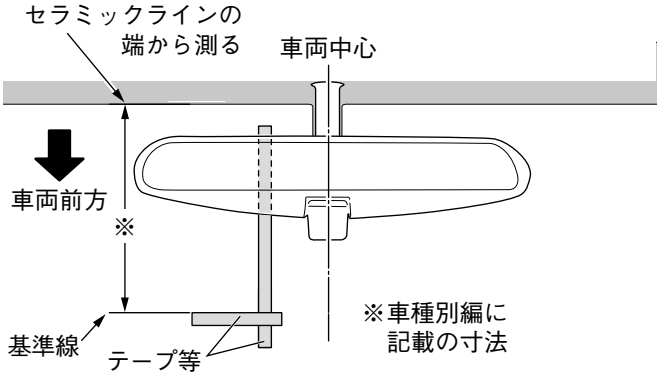


1. 車種別編に記載されている位置の横方向の基準線をテープ等でマーキングします。

注 記

- 車種によりマーキング位置が異なります。車種別編を参照ください。
- 車種別編で示す貼付寸法を遵守してください。誤った位置にドライブレコーダー本体①やブラケット（フロント）②を貼り付けると保安基準に抵触するおそれがあります。
- テープ等の車両進行方向左側が基準線になるようにマーキングしてください。
- 上 / 下の２箇所（※）で寸法を測り、基準線が垂直になるようにマーキングしてください。

車室内側からフロントウインドウを見た図

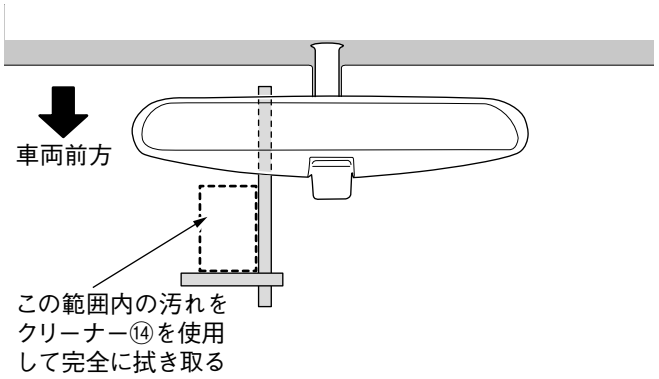


2. 車種別編に記載されている位置の縦方向の基準線をテープ等でマーキングします。

注 記

- 車種によりマーキング位置が異なります。車種別編を参照ください。
- 車種別編で示す貼付寸法を遵守してください。誤った位置にドライブレコーダー本体①やブラケット（フロント）②を貼り付けると保安基準に抵触するおそれがあります。
- テープ等の上側が基準線になるようにマーキングしてください。
- 縦方向の基準マーキングが地面に対して水平であることを確認してください。

車室内側からフロントウインドウを見た図



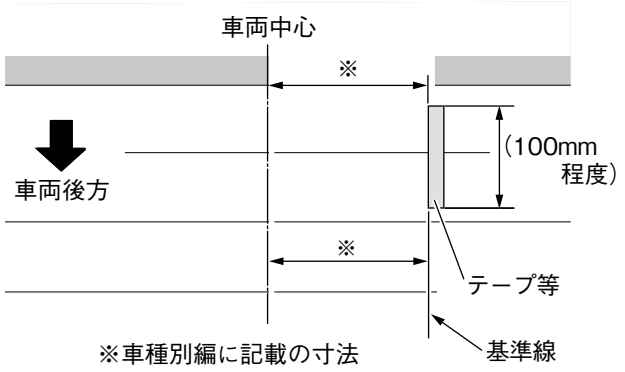
3. ドライブレコーダー本体①を貼り付ける位置のフロントウインドウ（車室内側）の汚れ（ゴミ、油）や、くもり止め等をクリーナー⑭で完全に拭き取ります。
4. フロントウインドウに付いたクリーナー⑭の成分をきれいなウエスで完全に拭き取ります。

注 記

- フロントウインドウが乾くまで、貼り付け作業を行なわないでください。
  フロントウインドウに貼り付かなくなります。
- 拭き取り後は貼り付け位置には触れないでください。

＜リヤカメラ 取付位置のマーキング＞ フロント・リヤセット

車室外（もしくは車室内）側から
バックドアウインドウを見た図

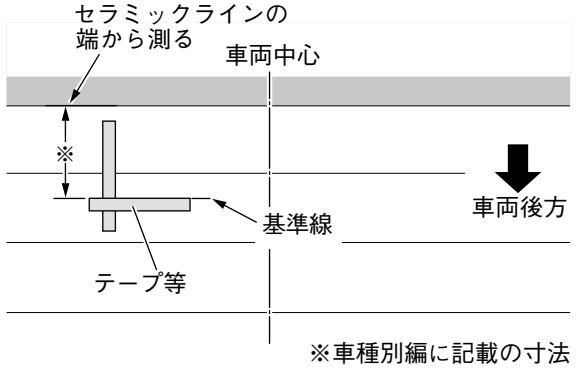


1. 車種別編に記載されている位置の横方向の基準線をテープ等でマーキングします。

注 記

- 車種によりマーキング位置が異なります。車種別編を参照ください。
- 車種別編で示す貼付寸法を遵守してください。
- テープ等の車両進行方向左側が基準線になるようにマーキングしてください。
- 上 / 下の２箇所（※）で寸法を測り、基準線が垂直になるようにマーキングしてください。

車室内側からバックドアウインドウを見た図

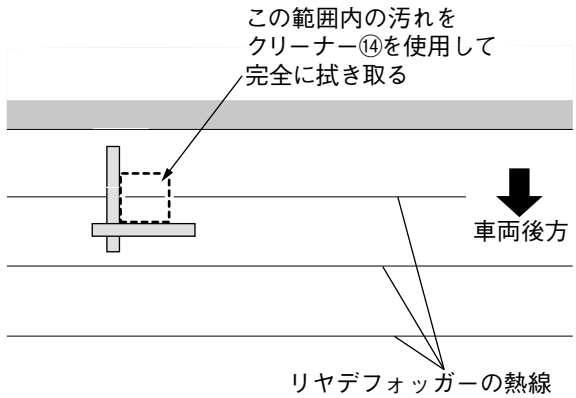


2. 車種別編に記載されている位置の縦方向の基準線をテープ等でマーキングします。

注 記

- 車種によりマーキング位置が異なります。車種別編を参照ください。
- 車種別編で示すブラケット（リヤ）⑦の貼付寸法を遵守してください。
- テープ等の上側が基準線になるようにマーキングしてください。
- 縦方向の基準マーキングが地面に対して水平であることを確認してください。

車室内側からバックドアウインドウを見た図

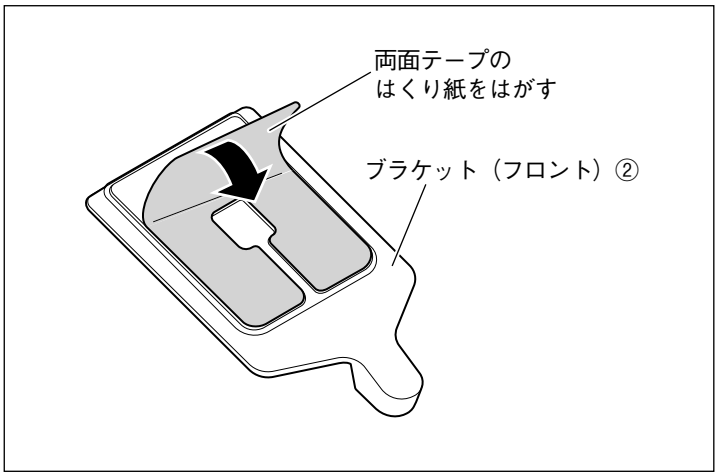


3. ブラケット（リヤ）⑦を貼り付ける位置のバックドアウインドウ（車室内側）の汚れ（ゴミ、油）や、くもり止め等をクリーナー⑭で完全に拭き取ります。
4. バックドアウインドウに付いたクリーナー⑭の成分を、きれいなウエスで完全に拭き取ります。

注 記

- リヤデフォッガーの熱線を傷つけないよう、熱線に沿って拭いてください。
- バックドアウインドウが乾くまで、貼り付け作業を行なわないでください。
  バックドアウインドウに貼り付かなくなります。
- 拭き取り後は貼り付け位置には触れないでください。

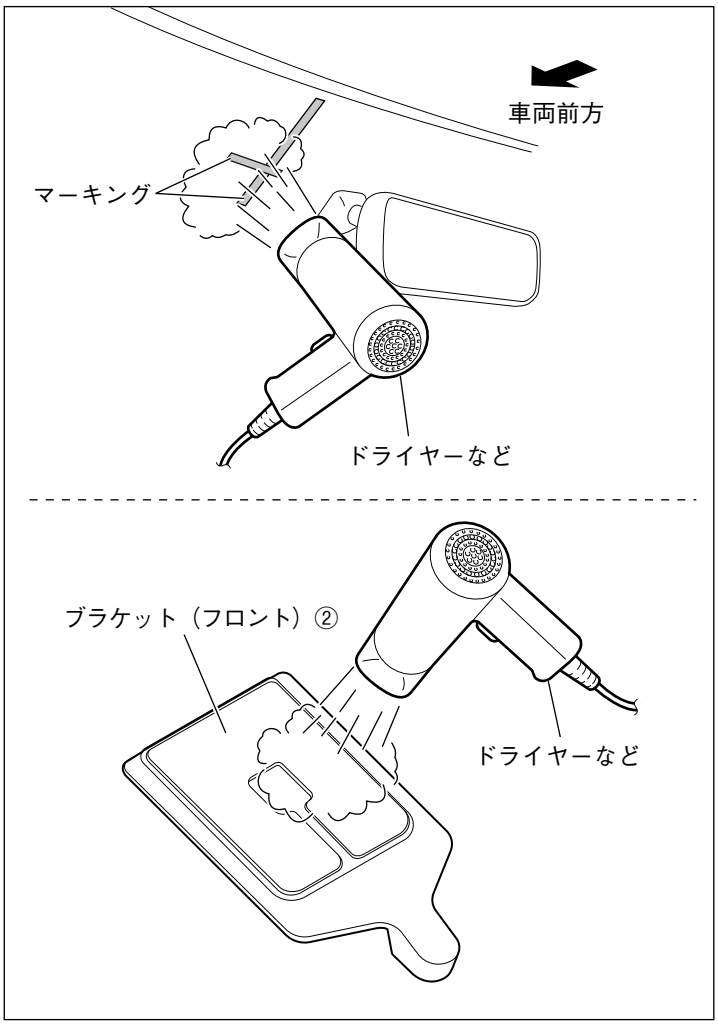
＜ドライブレコーダー本体の取り付け＞ フロント・リヤセット フロントのみ



1 ブラケット（フロント）②の両面テープから、はくり紙をはがします。

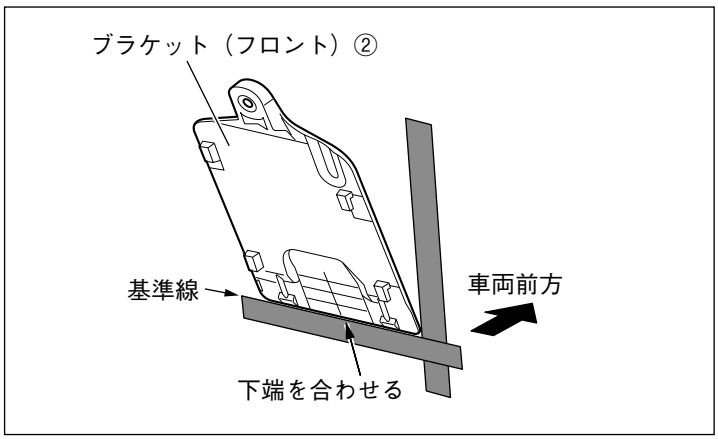
注 記

両面テープの粘着面に手を触れないでください。
粘着力が弱まり、ブラケット（フロント）②およびドライブレコーダー本体①が落下するおそれがあります。

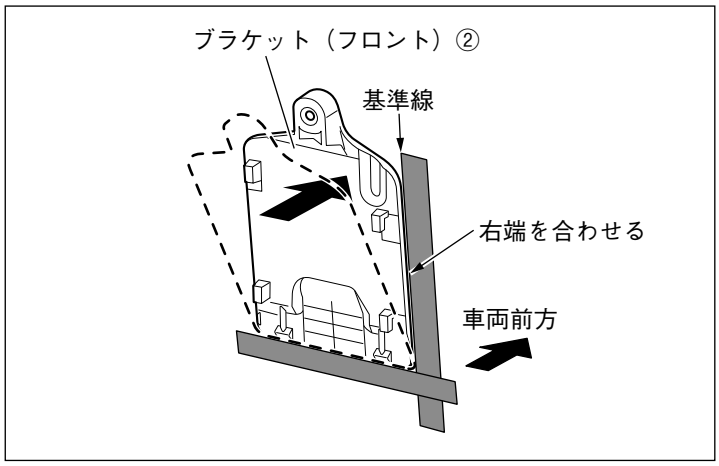


注 記

- 作業環境（温度・湿気）に注意してください。
- 温度が低い場合は、ドライヤーなどでフロントウインドウ面とブラケット（フロント）②の両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。
- 両面テープは、数秒だけドライヤーなどで温めてください。
- 温度について
  貼付作業時の環境温度は、15℃以上が推奨です。気温が低い時期（気温 15℃未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、フロントウインドウ面と十分な粘着力が得られない場合があります。
- 湿気について
  貼付部のウインドウ表面を乾燥させてください。室温に比べてウインドウ表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。



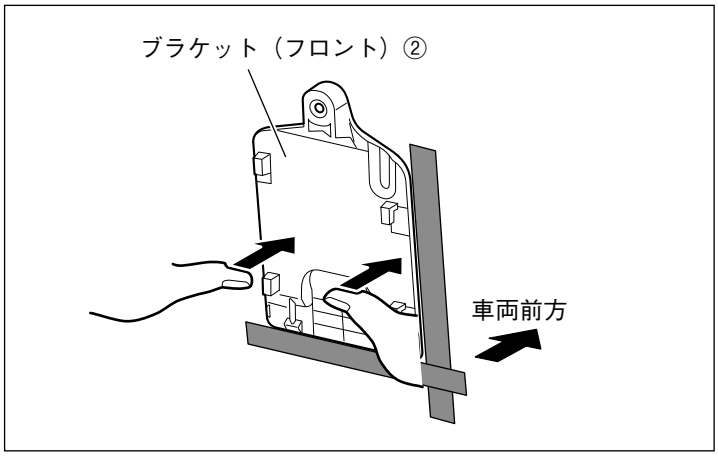
2. ブラケット（フロント）②の下端を基準線に合わせます。



3. ブラケット（フロント）②の右端を基準線に合わせながら、両面テープを貼り付けます。

注 記

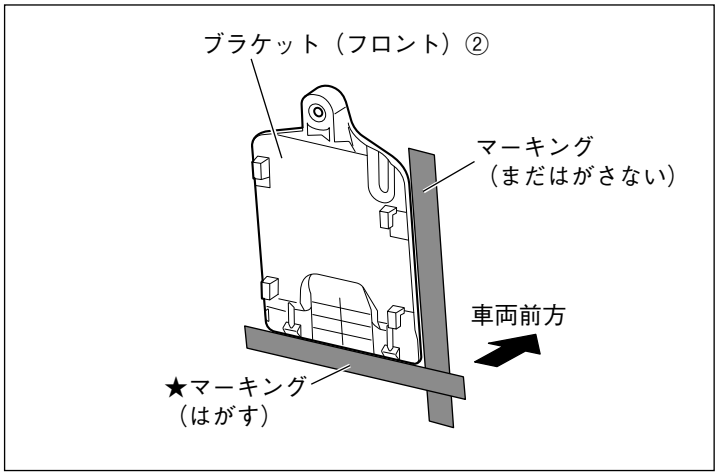
気泡が入らないように貼り付けてください。



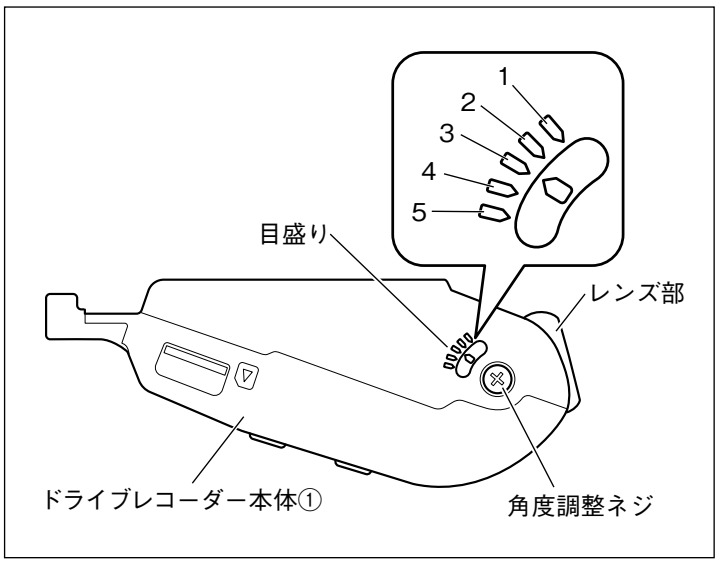
4. ブラケット（フロント）②をフロントウインドウに対して垂直方向に強く押して貼り付けます。

注 記

- **両面テープをしっかりと定着させるため、ブラケット（フロント）②を十分にフロントガラスに押しつけてください。**
- **貼り付け後、車室外側から見て両面テープの貼り付け面に気泡が無いことを確認してください。**
- **粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、貼り直したりしないでください。**
- **貼り付け後、ガラスクリーナー等で付近を清掃する場合は、必ず 10 分以上放置後に行ってください。**
- **十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレーや水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。**



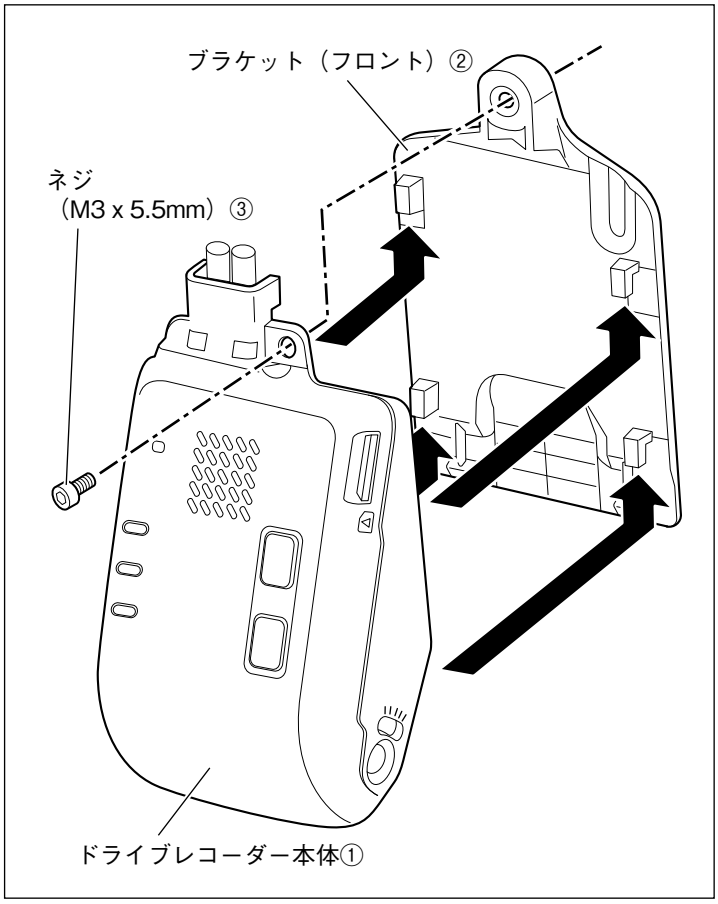
5. 横方向の★マーキングをはがします。
縦方向のマーキングは、〈ケーブルガイドの取り付け〉で目安にするため、はがさないでください。



6. ドライブレコーダー本体①側面の角度調整ネジを回し、レンズ部の角度を設定します。角度は車種別編を参照ください。

注 記

レンズにキズ、指紋などをつけないでください。

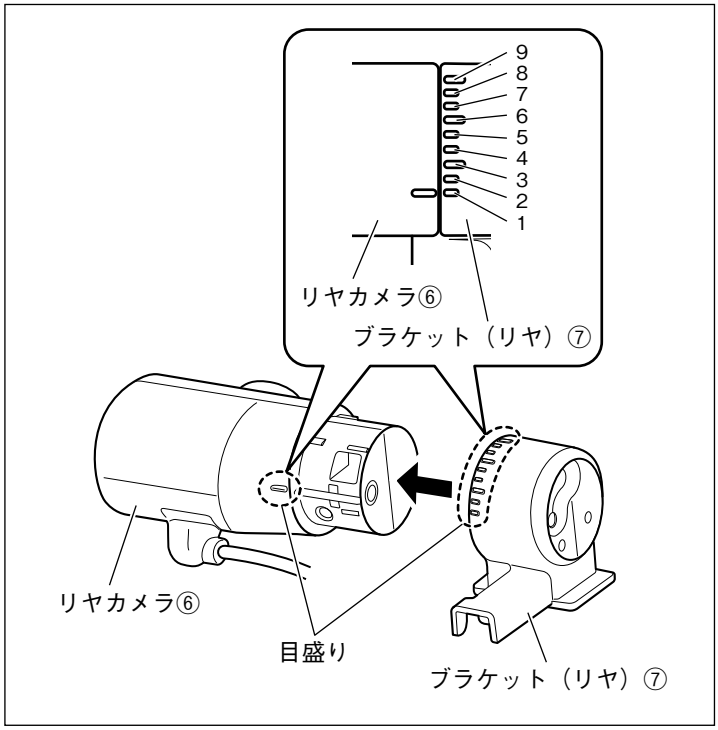


7. ドライブレコーダー本体①を、ブラケット（フロント）②に固定します。
8. ネジ（M3 x 5.5mm）③を締め付けます。

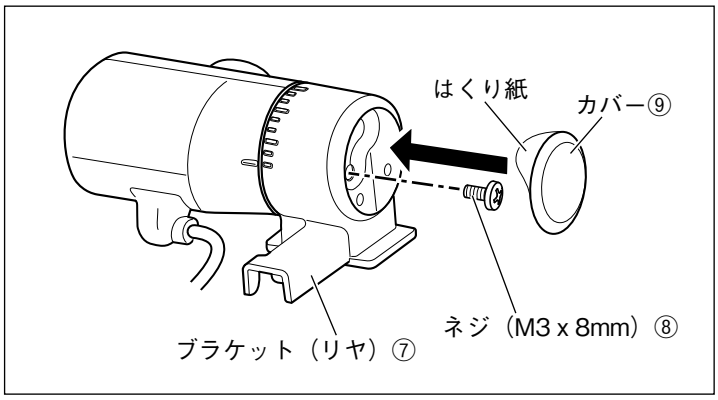
注 記

- **締付トルク：0.6 ± 0.1N・m**
- **ドライブレコーダー本体①と、ブラケット（フロント）②にガタがないことを確認してください。**

＜リヤカメラの組み立て＞ フロント・リヤセット



1. 車種別編を確認し、目盛りを合わせてブラケット（リヤ）⑦を リヤカメラ⑥にはめ込みます。



2. ネジ（M3×8mm）⑧でブラケット（リヤ）⑦を固定します。

注 記

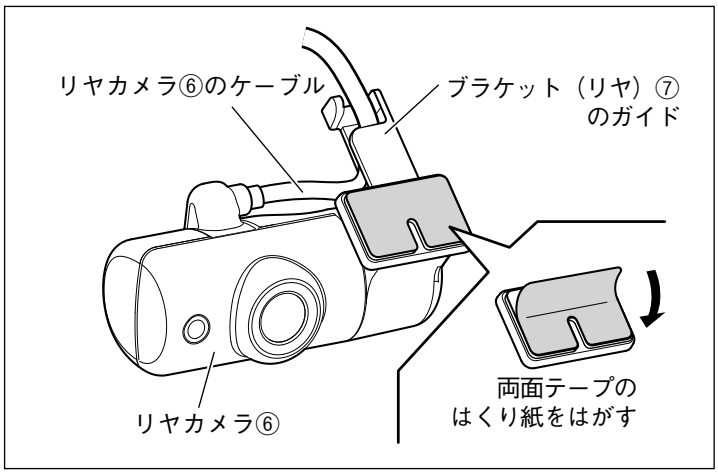
- 締付トルク：0.6 ± 0.1N・m
- リヤカメラ⑥とブラケット（リヤ）⑦にガタがないことを確認してください

3. カバー⑨のはくり紙をはがし、ブラケット（リヤ）⑦に貼り付けます。

アドバイス

リヤカメラ⑥とブラケット（リヤ）⑦、ネジ（M3 × 8mm）⑧、カバー⑨の組み立ては、車両へ取り付ける前に行ってください。

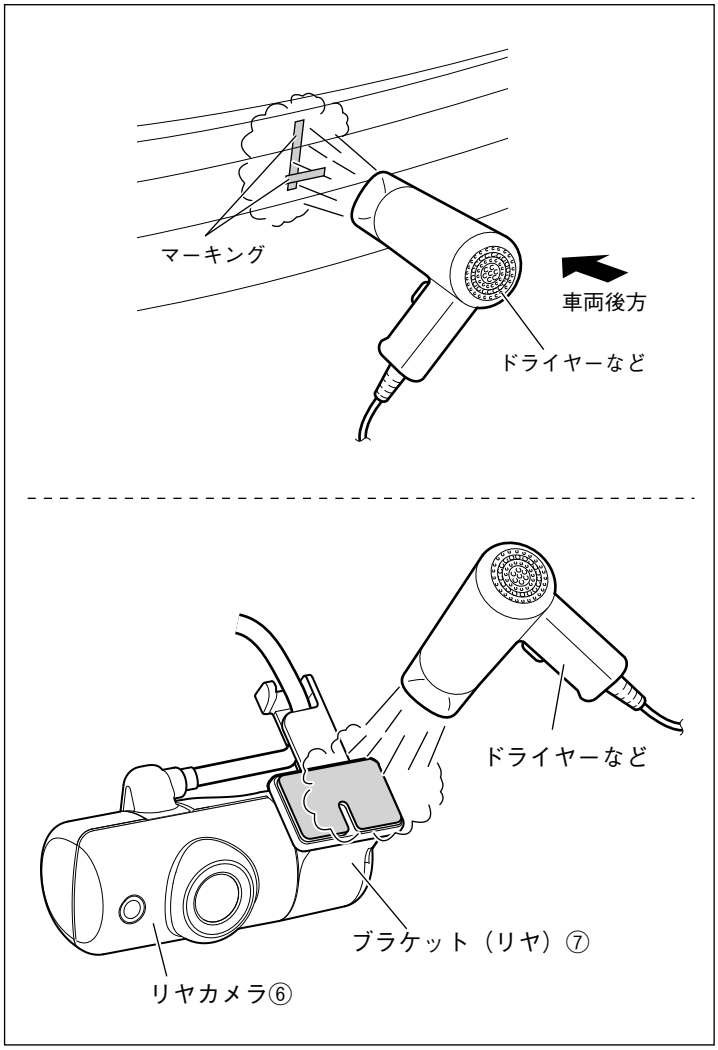
＜リヤカメラの取り付け＞ フロント・リヤセット



1. リヤカメラ⑥のケーブルをブラケット（リヤ）⑦のガイドに通します。
2. ブラケット（リヤ）⑦の両面テープから、はくり紙をはがします。

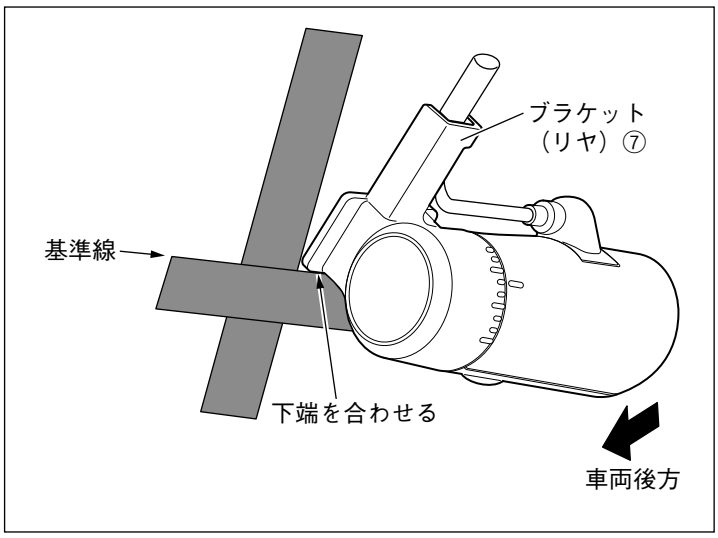
注 記

両面テープの粘着面に手を触れないでください。
粘着力が弱まり、リヤカメラ⑥が落下するおそれがあります。



注 記

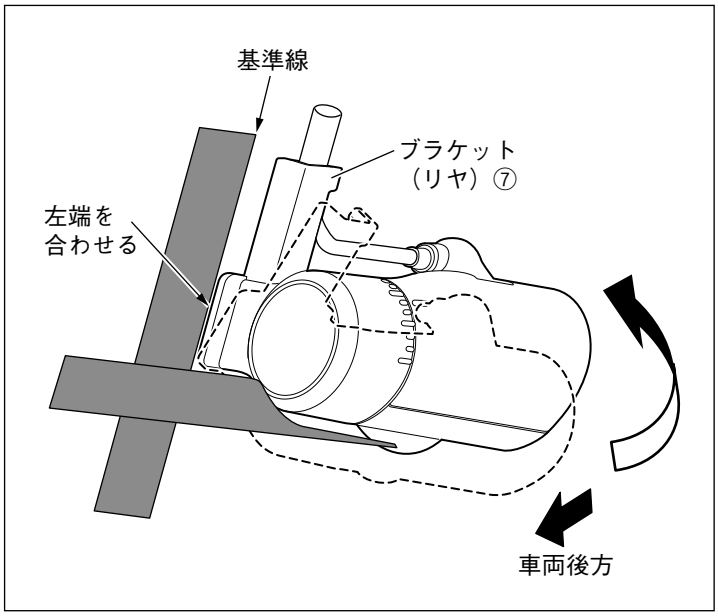
- 作業環境（温度・湿気）に注意してください。
- 温度が低い場合は、ドライヤーなどでバックドアウインドウ面とブラケット（リヤ）⑦の両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。
- 温度について
  貼付作業時の環境温度は、15℃以上が推奨です。気温が低い時期（気温 15℃未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、バックドアウインドウ面と十分な粘着力が得られない場合があります。
- 湿気について
  貼付部のウインドウ表面を乾燥させてください。室温に比べてウインドウ表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。
- リヤカメラ⑥を温めすぎると、破損する可能性があります。両面テープを温める際は、数秒だけドライヤーなどで温めてください。



3. ブラケット（リヤ）⑦の下端を基準線に合わせます。

アドバイス

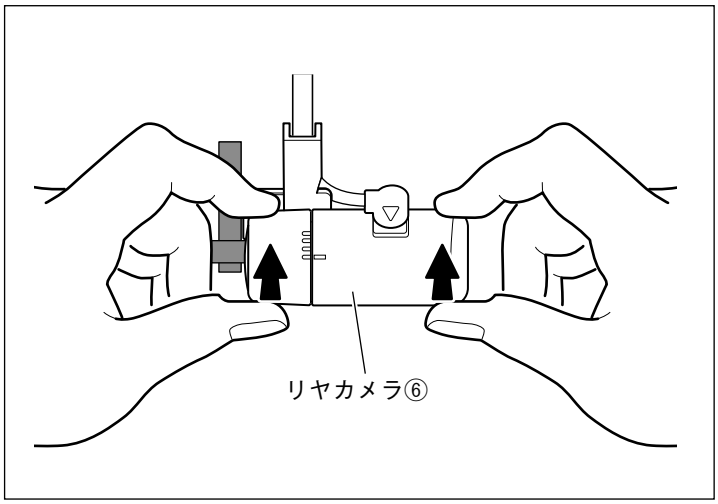
運転席側 / 助手席側のいずれに取り付けの場合も、ブラケット（リヤ）⑦は図示の「左端」および「下端」を基準線に合わせて貼り付けます。



4. ブラケット（リヤ）⑦の左端を基準線に合わせながら、両面テープを貼り付けます。

注 記

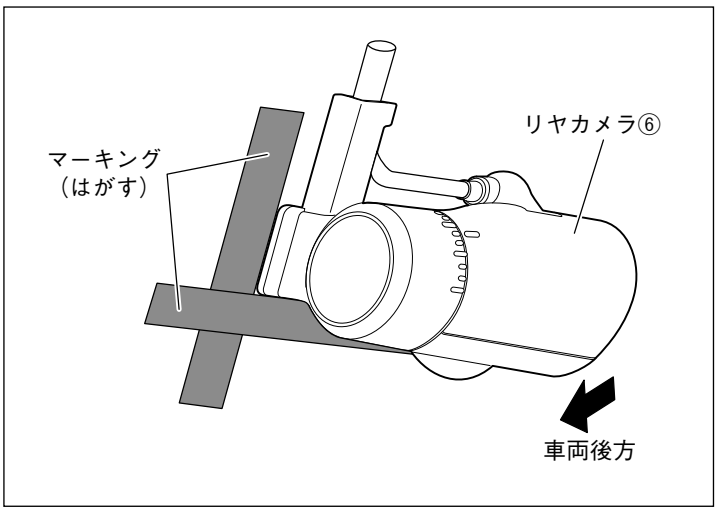
- **バックドアウインドウの熱線にブラケット（リヤ）⑦の両面テープを貼り付けないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。**
- **気泡が入らないように貼り付けてください。**



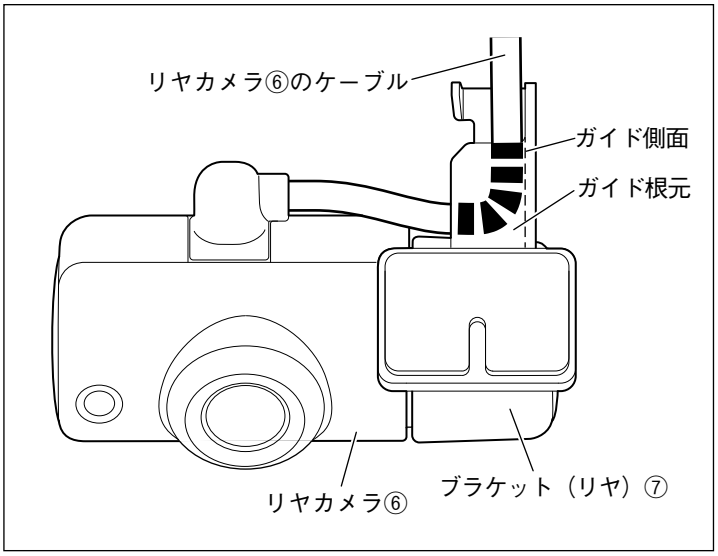
5. リヤカメラ⑥をバックドアウインドウに対して垂直方向に強く押して貼り付けます。

注 記

- **両面テープをしっかりと定着させるため、リヤカメラ⑥を十分にバックドアガラスに押しつけてください。**
- **貼り付け後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡が無いことを確認してください。**
- **粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、貼り直したりしないでください。**
- **貼り付け後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず 10 分以上放置後に行ってください。**
- **十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレーや水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。**



6. マーキングをはがします。



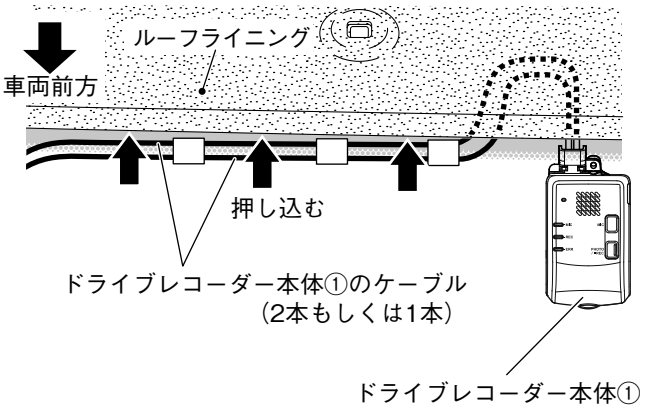
7. リヤカメラ⑥のケーブルをブラケット（リヤ）⑦のガイドの根元におさめ、ガイドの側面にケーブルが沿うよう引き回して下さい。

注 記

- **取り付け後の本体位置ずれ・傾きを抑制するため、リヤカメラ⑥のケーブルはブラケット（リヤ）⑦のガイド根元部へ確実に押し込んでください。**
- **リヤカメラ⑥のケーブルは、配線作業中に引っ張ったりして、ブラケット（リヤ）⑦のガイド根元部および側面から外れないようにしてください。**

＜ルーフライニング部、フロントピラー部の配線＞ フロント・リヤセット フロントのみ

助手席からフロントウインドウを見た図

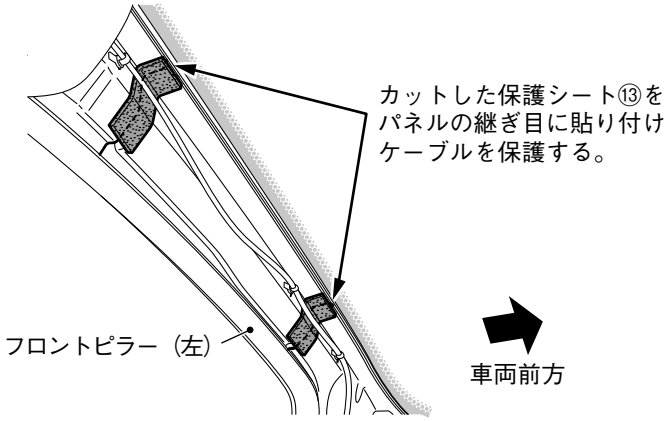


1. ドライブレコーダー本体①のケーブル（2本もしくは1本）をルーフライニング内に押し込みます。

アドバイス
車種により引き回し方向は異なります。
車種別編を参照ください。

注 記
ドライブレコーダー本体①のケーブルをルーフライニング内に押し込む際、ルーフライニングに折り目（割れ等）が入らないよう注意して作業を行ってください。

フロントピラー部

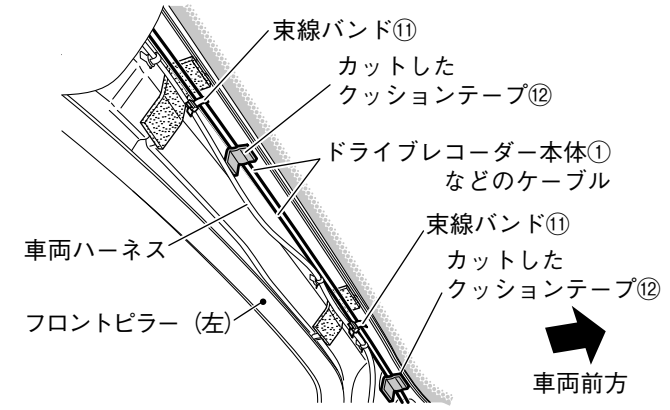


※図は助手席側を示しますが、運転席側も同様です。

2. フロントピラー部にパネルの継ぎ目がある場合は、ドライブレコーダー本体①などのケーブルを保護するために、保護シート⑬を車両側に貼り付けます。

アドバイス
車種により位置や寸法は異なります。
車種別編を参照ください。

フロントピラー部



※図は助手席側を示しますが、運転席側も同様です。

3. ドライブレコーダー本体①などのケーブルを配線し、束線バンド⑪やクッションテープ⑫で固定します。

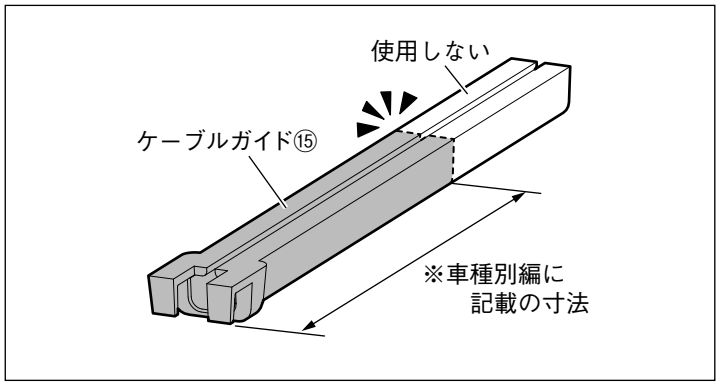
アドバイス
車種により位置や寸法は異なります。
車種別編を参照ください。

注 記
フロントピラートリム裏側のリブおよび固定クリップ等に干渉しないように配線してください。

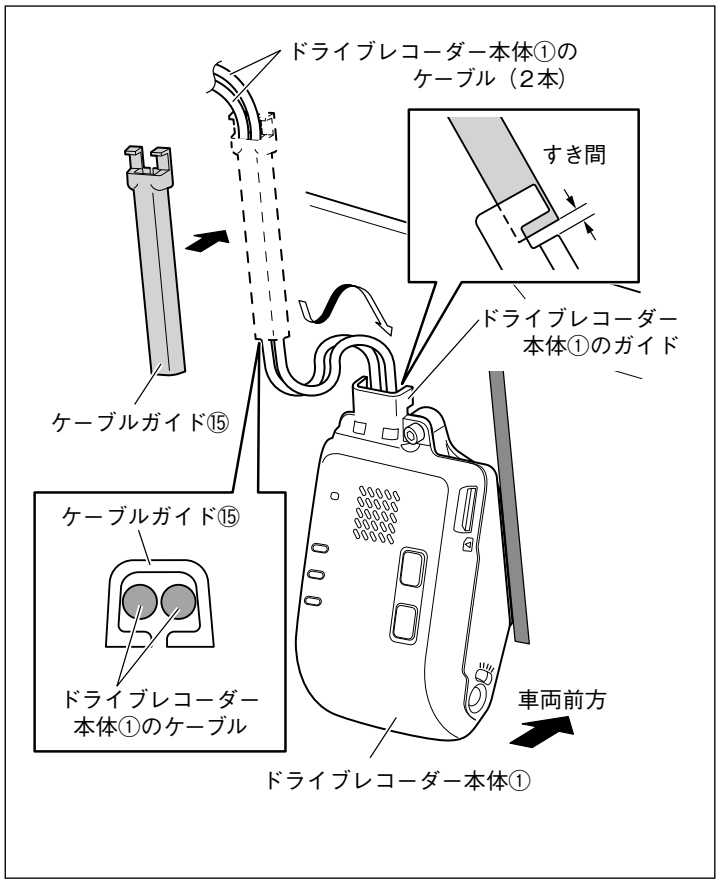
＜ケーブルガイドの取り付け＞ フロント・リヤセット フロントのみ

注 記

ドライブレコーダー本体①に無理な力がかからないよう、作業を行ってください。



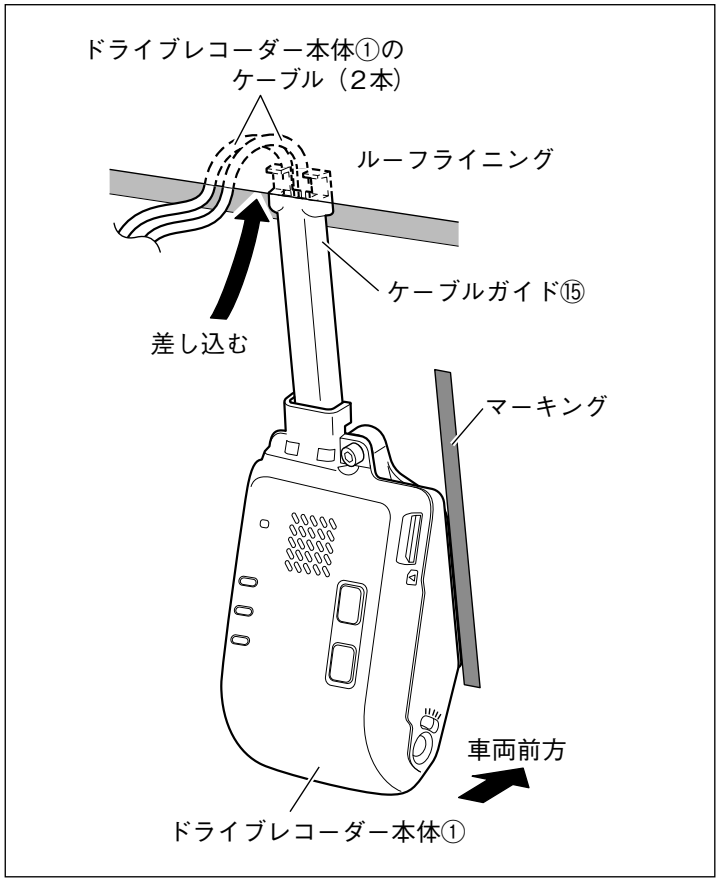
1. 車種別編を確認し、ケーブルガイド⑮をカットします。



2. ケーブルガイド⑮を、ドライブレコーダー本体①のケーブル（2本）に取り付けます。
3. ケーブルガイド⑮を、ドライブレコーダー本体①のガイドにはめ込みます。

アドバイス

- ドライブレコーダー本体①のケーブルがたるまないよう、ケーブルを上方に引きながらケーブルガイド⑮をはめ込んでください。
- ケーブルガイド⑮の下端とドライブレコーダー本体①のガイドの間に、すき間をあけてください。



4. ケーブルガイド⑮の先端をルーフライニング内に差込みます。
5. ケーブルガイド⑮を、マーキングを目安にルーフライニングに対して垂直にします。
6. ケーブルガイド⑮を取り付けた後、縦方向のマーキングをはがします。

アドバイス

- ケーブルガイド⑮がルーフライニングに対して垂直になっていることを確認してください。
- できる限りケーブルガイド⑮とフロントウインドウに、すき間があかないよう取り付けてください。

取り付け完了後の点検・調整

フロント・リヤセット　フロントのみ

・車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締め付けトルク等）
・取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
・オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。

1. 取り付けの確認

1. 配線や取り付けに異常がないか点検してください。
2. 特に車両ハーネス等を無理に引っ張ったり、かみ込んでいないか確認してください。
3. ネジ類の締め付けが完全か、締め忘れはないか確認してください。

2. 動作確認

1. バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
2. エンジンを始動した状態でドライブレコーダーの動作確認を行ってください。
（トラブルシュートについてはドライブレコーダーに付属の取扱説明書に記載してあります。）

3. 最終確認

1. 車両のメーター、警告灯、ヘッドランプ、エアコン、時計、ホーン、ワイパー、アクセサリーソケットなどが正常に動作することを確認してください。

取り付け店様へのお願い

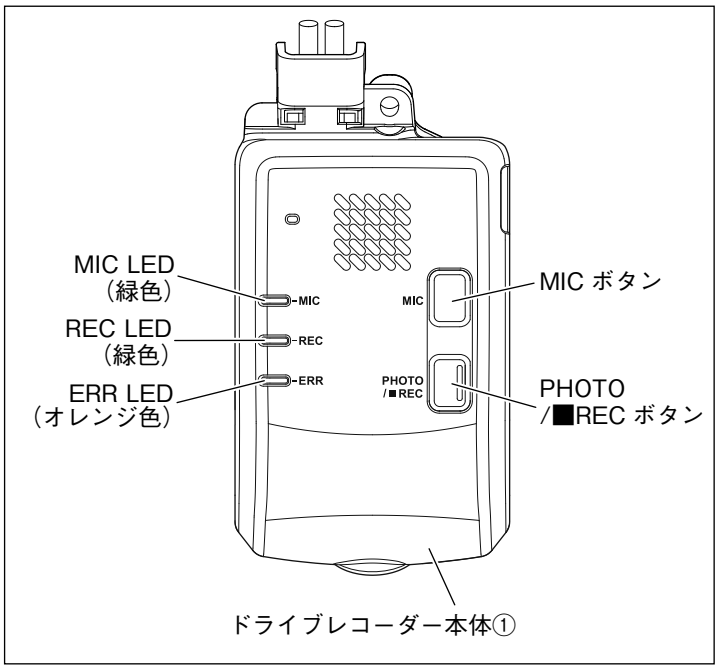
必ずお客様に操作要領を説明してください。

本体初期設定（取付調整設定）

フロント・リヤセット　フロントのみ

注 記

- 本機を正常に動作させるため、下記の本体初期設定（取付調整設定）を必ず実施してください。
- 平らな場所に停車している状態で実施してください。



1. microSDカードを挿入しない状態で、ドライブレコーダー本体①のMICボタンとPHOTO/■RECボタンを同時に押しながら、エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。
2. REC LEDとERR LEDが点滅し、「本体初期設定を開始します」の音声ガイダンスが流れます。
3. REC LEDとERR LEDが消灯し、「本体初期設定が完了しました」の音声ガイダンスが流れます。
4. 9909B-53U84-K02（フロント･リヤセット）は「後方録画カメラの設定があります」の音声ガイダンスが流れます。
   9909B-53UA4-K01（フロントのみ）は「後方録画カメラの設定はありません」の音声ガイダンスが流れます。
5. 本体初期設定（取付調整設定）は終了です。

アドバイス

- 「本体初期設定が未実施です」の音声ガイダンスが流れる場合は、上記 1. ～ 4. の手順で本体初期設定を行ってください。
- 「本体初期設定に失敗しました」の音声ガイダンスが流れる場合、また後方録画カメラの有無が異なる場合は、ケーブルの接続を確認し、改めて上記 1. ～ 4. の手順で本体初期設定を行ってください

動作確認

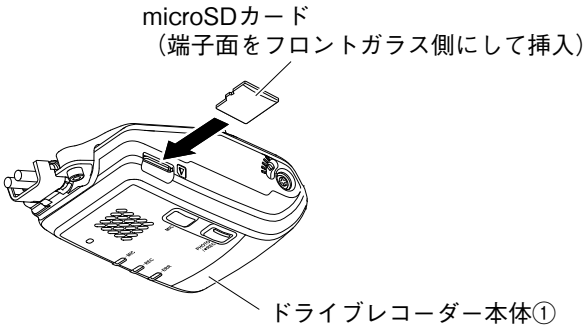
フロント・リヤセット　フロントのみ

■ ドライブレコーダー本体の基本操作

＜ microSD カードの抜き差し＞

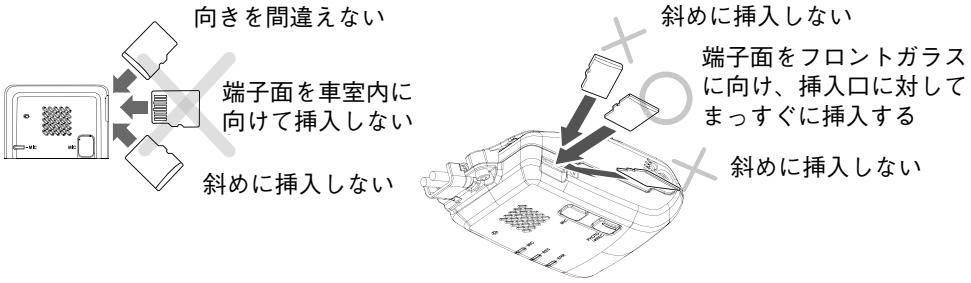
microSD カードの抜き差しの際は、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にして LED 消灯を確認してください。

（1）microSDカードをドライブレコーダー本体①の挿入口に、端子面を上にしてカチッと音がするまで挿入します。
この際、microSDカードの向きに注意してください。



注 記

microSD カードの抜き差しの際は、下記に留意してください。



（2）microSDカードを取り出すときは、microSDカードを押し、少し飛び出たら引き抜きます。

注 記

- **microSD カードの抜き差しの際は、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にして LED 消灯を確認してください。**
- **microSD カードは本機で記録されるデータ以外保存しないでください。**
- **microSD カードへアクセス中（REC LED（緑色）が点灯中）は microSD カードを取り出さないでください。**

■ ドライブレコーダー本体の動作確認

＜録画動作の確認＞

本機を取り付けた後、本機に microSD カードを挿入した状態で車両のエンジンスイッチを ACC または ON にし、以下の動作確認を実施してください。

⚠注意

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

No.	正常動作	正常動作しない場合の確認事項	チェック
1	REC LED が点灯する	・ケーブルの接続を確認してください。 ・microSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。	□
2	音声エラー通知が出ない	・音声エラー通知の対処方法を参照してください。	□

＜音声エラー通知＞

音声ガイダンス	ERR LED（オレンジ色）	原因 / 対処
SDカードがありません	点灯	microSDカードが入っていません。エンジンスイッチを OFF（LOCK）にして同梱品の microSDカードを挿入してから、エンジンスイッチを ACC または ON にしてください。
SDカードをフォーマットしてください	点灯	microSD カードの初期化が必要な状態です。microSD カードをフォーマットしてください。
SDカードエラーです SDカードをフォーマットしてください	点灯	・microSD カードの異常、または本機に付属以外の microSD カードを挿入していないか確認してください。 ・録画、記録ファイルの最大件数または枚数を超えたファイルが microSD カードに保存されていないか確認してください。 ・上記２点を確認しても問題が解消されない場合は、microSD カードをフォーマットしてください。ただし、フォーマットしても問題が解消されないこともあります。 ・フォーマットしても改善されないときは、故障の可能性があります。microSD カードもしくはドライブレコーダーを交換してください。
SD カードの容量が不足しています 不要なデータを削除してください	点灯	microSD カード内の不要なファイルを削除する、または必要なデータをバックアップしてから microSD カードをフォーマットしてください。
録画を中止しました	点灯	microSDカードが抜かれたため、録画を停止しました。エンジンスイッチを OFF（LOCK）にして microSDカードを挿入してから、エンジンスイッチを ACC または ON にしてください。
温度異常です。録画を中止しました	点灯	温度異常により、録画ができなくなっています。通常の温度に戻ると使用できるようになります。
カメラ異常です。録画を中止しました	点灯	・ケーブルの接続に異常があります。結線図に沿って再確認してください。 ・接続に問題がない場合は、ドライブレコーダーに異常が発生しています。
本体異常です。録画を中止しました	点灯	
カメラ異常です（録画停止を伴わない）	点灯	
GPS レシーバーの異常です	点灯	ドライブレコーダーに異常が発生しています。
本体異常です	点灯	
SD カードの交換推奨時期です	点灯	microSD カードの寿命が近づいています。新しい microSD カードと交換してください。
静止画記録ができませんでした	ー	静止画記録に失敗したときに発声します。必要なデータをバックアップしてから microSD カードをフォーマットしてください。
本体初期設定が未実施です	点灯	本体初期設定（取付設定調整）を実施してください。
本体初期設定に失敗しました	点灯	ケーブルの接続を確認し、本体初期設定（取付設定調整）を実施してください。、
SDカードに非対応データが存在します 非対応データを削除してください	点灯	本機以外のドライブレコーダーやスマートフォンなどに使用すると非対応データが自動作成されることがあります。 microSD カード内の不要なファイルを削除する、または必要なデータをバックアップしてから microSD カードをフォーマットしてください。
非対応の SDカードです	ー	付属品の microSD カードを使用してください。

■ パソコンを使用した動作確認

＜パソコンの準備＞

1. microSDカード、SDカードアダプター、カードリーダー、パソコン（下記スペックを参照）を準備します。
2. microSDカードを、SDカードアダプターおよびカードリーダーを使用してパソコンに認識させます。

●パソコンの必要スペック

OS	Windows 10 (32Bit/64Bit) Windows 11 (64Bit)
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上 フロント / リヤ同時再生時は、Core i5（4 コア）2.5GHz 以上を推奨
メモリ	4GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	地図表示機能を使用する場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。

※ Windows 10、Windows 11 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※ Intel Core は、Intel Corp. の登録商標または商標です。

＜録画する＞

1. micro SDカードをドライブレコーダー本体①へ挿入する。
2. エンジンスイッチをACCまたはONにしてドライブレコーダー本体①の電源がオンになると、常時録画を開始します。
   ドライブレコーダー本体①のREC LED（緑色）が点灯していることを確認してください。
3. エンジンスイッチをOFFにして、ドライブレコーダーからmicro SDカードを取り出す。

＜ビューアーソフトをインストールする＞

1. 専用サイトhttp://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/にアクセスして、車両メーカーから本機種を選択します。
2. インストーラー「Setup_E2-xx.msi」をダウンロードして､パソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーします。
3. コピーした「Setup_E2-xx.msi」をダブルクリックしてください。

4.セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールを進めてください。

5.「完了」をクリックすると、インストールが完了します。

＜パソコンによる確認＞

1. microSDカードを本機から取り外し、付属のSDカード変換アダプターに挿入し、カードリーダーを使用してパソコンに接続します。
2. パソコンにインストールしたビューアーソフトを起動します。
   Windows11 の場合：「スタート」－「すべてのアプリ」－「DRIVE REVIEWER E2」
   Windows10 の場合：「スタート」－「DRIVE REVIEWER E2」フォルダ －「DRIVE REVIEWER E2」
3. ビューアーソフトのドライブ選択よりmicroSDカードのドライブを選択しますｓ。
   録画された映像が再生されます。

ドライブ選択

ビューアーソフトの各部説明

No	名称	説明
①	拡大表示機能	再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。
②	メニュー	フォルダ選択、kmz/kml にエクスポート、バックアップ、終了の操作を行います。またドライブ選択、設定ファイルの書き込みとバージョンの表示を行います。
③	映像再生画面	映像を再生または表示する画面です。
④	トラックバー / 再生時間	再生位置を示します。
⑤	小画面表示ボタン	リヤカメラ（もしくはフロントカメラ）の映像を小画面で表示します。（※ 9909B-53U84-K02 のみ）
⑥	再生ファイル選択ボタン	フロントカメラ / リヤカメラの画像を切りかえます。（※ 9909B-53U84-K02 のみ）
⑦	再生操作ボタン	再生 / 停止 / コマ戻し / コマ送り / 静止画保存 / 一時停止 / 再生速度調整 / 音量調整などの操作を行います。
⑧	グラフ	再生中ファイルの加速度の大きさと速度を表示します。
⑨	再生中のファイルのパス	再生中ファイルの格納場所を表示します。
⑩	スピードメーター	再生している動画ファイルの車両速度を表示します。
⑪	種類別一覧	撮影された映像のリストを表示します。
⑫	地図表示ボタン	選択したファイルの位置情報を地図上に表示します。 地図が表示されていないときは「マップ」をクリックします。

No	実施項目	正常動作	正常動作しない場合の確認事項	チェック
1	カメラ映像の確認	映像に黒セラミックやミラーベースなどが極端に映り込んでいないこと	取付説明書通りに取り付けができているか再度確認してください	□
2	音声の確認	音声の記録ができていること	MIC LED が点灯していることを確認してください　点灯していない場合は、MIC ボタンを押して音声記録をオンに切り替えて再度確認してください	□